

県立栃尾高等学校 部活動に係る活動方針

1. 目標

- (1) 部活動は学校教育の一環として実施する。
- (2) 余暇の善利用を図り、心身を鍛え充実した生活を築こうとする自主的な態度を育てる。
- (3) 技術・競技力を向上させるだけでなく、個性の伸長と生涯教育の一環として楽しみながら活動する面の両立を図る。

2. 本年度の部活動

(1) 本年度設置する部活動について

- 陸上競技、バスケットボール、野球、弓道、バドミントン
- 音楽、科学、農芸、美術、書道、家庭

(2) 活動時間及び日数について

① 活動時間

学期中は、平日2時間、週休日等3時間程度（練習試合や大会等を除く）。

長期休業中等は、平日・週休日等3時間程度（練習試合や大会等を除く）。

② 休養日

年間100日以上、うち週休日等に50日以上とする。（原則、週当たり2日以上（平日1日以上、週休日等1日以上）を設ける。）

③ その他

- ・ 定期考査1週間前（土日含む）は部活動を行わない。大会等がある場合は校長に相談する。
- ・ 年末年始等の学校閉庁日は部活動を行わない。大会等がある場合は校長に相談する。
- ・ 平日の休養日の変更はその週の中で補い、週休日の休養日の変更はその月を含め、3か月以内に補う。

※「県立学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」により、週休日・祝日に登庁する場合は、事前に校長の許可を得る。週休日に部活動を行う場合は、月毎の活動計画書とは別に事前に申請を行うことにより校長の許可を受ける。

(3) 大会参加について

部活動として参加する大会は、以下の点に該当するものとする。

- ① 高体連・高野連・高文連主催、共催、後援の大会とする。
- ② その他の大会については、校長が許可した場合のみ参加を認める（ただし、生徒の健康面・学習面には十分配慮する）。

3. 部活動運営について

(1) 体罰等の禁止について

部活動顧問等の指導者は、いかなる理由があっても、部活動での指導で体罰等を正当化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識をもち、体罰等のない指導に徹する。

(2) 保護者等の理解と協力について

保護者等の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができない大切なことであることから顧問としての指導に関する基本方針・練習計画・練習内容・活動時間・休養日を明確にし、保護者等に示す。